

入鹿小だより

～わくわく登校・ニコニコ下校～

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 31年 3月 12日
第 23 号

卒業間近の6年生へ「ありがとう」を込めて

3月7日木曜日、学習発表会を兼ねた6年生を送る会が行われました。今年は1年生・2年生合同の劇「かさじぞう」、3・4年生は『私たちの大好きなふるさとの宝物』をしらべたよ、5・6年生は英語劇「続、桃太郎」をそれぞれ発表しました。保護者の皆さんをはじめ、普段からお世話になっている皆さんにも招待状を差し上げたところ、たくさんの方々にご来場いただき、当日は「満員御礼」状態でした。

1・2年生の劇は低学年にしては演技力が高く、みんななかなかの役者ぶりでした。一生懸命セリフを覚えてたけど、緊張感からか忘れてしまった子もいましたが、それを周りの子がフォローしながら何とかしようとする姿がとてもほほえましかったです。

3・4年生はこれまで紀和町のことについて調べてきた、丸山千枚田、ふるさと公社の生産物、瀬流太鼓について新聞にまとめたものの発表でした。児童の感想の中に「紀和町のことが益々好きになりました」というのもあり、将来、紀和町を支えてくれる頼もしさを感じました。

5・6年生は昔ばなし桃太郎の続編を自分たちで考え、鬼退治をしておじいさんおばあさんのもとへ帰ってきてからを英語劇にしました。英語の後に日本語もあり、見ていた方もあらすじが分かりやすく工夫されていました。担任も鬼に扮しての熱演に、子どもたちは大盛り上がりでした。

最後に、これまでの感謝の気持ちのメッセージを集めた色紙を6年生に手渡し、「ああ、卒業式がもう間近に迫ったのだなあ」と思うだけで、涙腺が緩みそうになりました。



菜緒さん おめでとう!!

5年生の前ノ坊菜緒さんが、紀南高校等主催の「きなん小中学生俳句コンクール」で生徒会特別賞をいただき、先日の下校会で賞状などを披露してくれました。受賞した俳句は「放課後にもみじ見ながら再テスト」です。菜緒さん俳句に気持ちがこもっていてとてもいい俳句ですね。

マナウス日本人学校のマスコット

コンゴウインコという鳥をご存知ですか。右の写真のようなインコなのですが（印刷では見にくくて申し訳ありません。可能でしたら、是非ホームページをご覧ください）、青い部分が多いルリコンゴウインコというのもいるのですが、とにかく派手な色の大型インコです。体長は尻尾の先まで入れると50cmほどです。野生のものは絶滅している種類もあるといわれているほどです。マナウス日本人学校では時々飛んでいる姿を見かけることがありました。



このようなコンゴウインコを学校で飼育していました。飼育しているといってもどこかで捕まえてきたわけではありません。羽に傷を負ったインコが学校に降りてきたものの、傷のせいで2度と飛べなくなりました。その様子を見た子どもか職員か定かではありませんが、かわいそうだからと学校の木に移して以来、ずっと学校に住んでいるとの話を聞きました。私が赴任した時にはすでに学校に住んでいました。

以来、このインコは子どもたちからはもちろん、職員からもマスコットのようにかわいがられています。子どもたちはこのインコのことを「アラーラ」（ポルトガル語でコンゴウインコを Arara）と呼んでいます。しかもこのインコは時々「アラーラ」と鳴くのです。ただし、子どもたちが「アラーラ」と呼びかけているので、それをマネしているのかもしれませんが。なにせインコですからね。

アラーラのエサはヒマワリの種です。スクールバスの運転手さん兼業務員の山田さんがいつも買ってきてくれました。子どもたちもアラーラにヒマワリの種をあげたいのですが、くちばしで突つかれることがあり、おっかなびっくりです。子どもたちからエサをもらう時、アラーラは自分で木から降りてきます。飛べなくても歩くことはできますから。そしてエサをもらい終わると、これまた自分で木に戻っていきます。そして、一番落ち着くのか、いつもの場所に戻って子どもたちに愛嬌を振りまいていました。

今でもマナウス日本人学校ホームページのトップにはアラーラの写真が使われていますが、右の写真もホームページのトップを飾っていた時期があります。同じ鳥でもこちらはハチドリです。ハチドリはマスコットではありませんでしたが、花の蜜を吸いによくやって来ました。この写真は赴任1年めの夏休みの期間中、ずっと粘ってやっと撮った写真です。アラーラとはちがい、体長10cmくらいしかないので、撮影するのが一苦労でした。このこれもまた、マナウスでのいい思い出のひとつです。

